

週刊 鋼構造ジャーナル

2022
10/3 NO. 2103

新社長登場



桂スチール(兵庫県)
三木 伸一氏

みき・しんいち 1970年2月5日生まれ、兵庫県出身。芦屋大学経営教育学部卒後、商社勤務を経て1995年に桂スチール入社、2016年から常務取締役、今年10月1日付で代表取締役。公的には全国ビルトH工業会・運営委員長4年、現在、同・市況対策委員長。夫人と一女の3人家族。好きな言葉は「父への敬愛」。

日本一のビルトH形鋼の生産量を誇る。社長交代の打診は5年前。「先代(桂吾現名誉会長)が築き上げた全ての功績を引き継ぐことの意味をかみしめている」と就任の心境を語る。

顧客であるファブリケーターにとってどんな製品が必要なのかを常に追求しながら提供し続け、「ファブのために」を實行し続ける。「その実現のために社員一人ひとりが存在し、今まで操業を続けられたのはスタッフに恵まれている証と認識している。チームワークで今後も高品質な製品を

供給し、さらに成長を続けていきたい」という。ここ数年、月産平均5000〜6000トのビルトH形鋼を生産し、近年の需要増大を見越して大型構造物への対応強化から最新鋭または独自開発の機器への投資が続いている。「今後も貢献で

きる製品に特化した投資を続ける。これに加え、引き続き太陽光発電利用による脱炭素や社会貢献、職場環境の改善、生産管理システムの構築などに取り組む」と展望。業界の次世代リーダーの一人として、その手腕にさらに期待がかかる。(和田)